

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路担当参事 古川 雅一 ( 街路班主幹 金澤 真文)	内線	4474 (4480)	
事業 種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地 補償費	着手予定 年度	完了予定 年度
街路事業	都市計画道路 国道2号線 (寺家町) じけまち	加古川市加古川町 ひらの じけまち 平野～寺家町	61億円	48億円	令和3(2021) 年度	令和9(2027) 年度
事業目的			事業内容			
<p>本路線は、県南部の都市の骨格を形成する広域幹線道路であり、沿線地域の生活・産業を支える重要な路線である。</p> <p>○円滑な交通の確保 4車線化整備区間（本工区、平野、本町、加古川橋）を段階的に整備し、円滑な交通を確保する。</p> <p>○中心市街地の利便性向上 段階的4車線化に合わせ、一方通行規制を解除することで、アクセス性及び回遊性を改善し、中心市街地の利便性を向上させる。</p> <p>○歩行者・自転車の安全性を確保 自転車道の整備により、自動車・自転車・歩行者交通を分離させ、安全な通行空間を確保する。</p> <p>○都市防災機能の強化 緊急輸送道路の拡幅整備と無電柱化により、都市防災機能の強化を図る。</p>			<p>【延長】道路改築 延長 940m</p> <p>【構造規格】第4種第1級</p> <p>【計画幅員】 4車線 両側歩道・自転車道 車道 13.0m (全幅 25m)</p> <p>【計画交通量】 25,000台/日 (R12年予測)</p> <p>【現況交通量】 自動車：9,665台/日 (一方通行) (H27 センサス) 自転車：1,256台/12h (H27 センサス) 歩行者：243人/12h (H27 センサス)</p> <p>【負担割合】 国 55%、県 22.5%、市 22.5%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>①本工区を含む（都）国道2号線は、渋滞交差点である加古川橋西詰交差点がある等、慢性的な交通混雑が発生している。また、東播磨道の小野市までの全線開通（令和6年度予定）により、交通量がさらに増加する見込みであるため、東播磨道から加古川橋までを段階的に4車線化し、円滑な交通を確保する。</p> <p>②本工区を含む平野西から加古川橋東詰交差点間は、東行き的一方通行規制区間となっている。段階的4車線化に合わせ、一方通行規制を解除することで、中央市民病院等へのアクセス性や、駅周辺地区の回遊性を改善し、中心市街地の利便性を向上させる。</p> <p>③本工区は、多くの自転車・歩行者が通行しているが、自転車・歩行者道が未整備あるいは狭小であり、過去5年間に28件の自転車関連事故が発生している。このため、自転車道を整備し、自動車・自転車・歩行者の交通を分離することで、自転車利用者・歩行者の安全な通行空間を確保する。</p> <p>④本工区を含む国道2号は、緊急輸送道路に指定されており、拡幅整備と無電柱化により、防災機能を強化する。</p>					
(2) 有効性 ・ 効率性  (執行環境 状況)	<p>①費用便益比 B/C=1.3</p> <p>②都市計画決定済（全幅25m）</p> <p>③国会議員、県議会議員、加古川市、市議会議員、商工会議所、町内会等から構成される加古川市国道2号等整備促進協議会より、早期整備の要望書が提出される等、事業執行環境が整っている。</p>					
(3) 環境 適合性	<p>①歩道舗装を透水性舗装とすることで、雨水が地盤へ浸透し、ヒートアイランドの抑制や地下水涵養など都市環境の改善に寄与する。</p> <p>②拡幅整備と無電柱化により、良好な景観を形成する。</p>					
(4) 優先性	<p>①緊急輸送道路に位置づけており、救命・救急活動や緊急物資の輸送などの機能を強化するため、早期整備が必要である。</p> <p>②市民病院への迂回交通を解消するため、早期整備が必要である。</p>					
【事後評価】 対象・対象外	<p>①全線完成後に費用便益の3便益に加え、地域の活性化効果、事業に対する県民の満足感等について検証し、事後評価を行う。</p>					

# 街路事業 都市計画道路 国道2号線〔寺家町〕

## 目的

- ①4車線化整備による円滑な交通の確保
- ②一方通行規制の解除による中心市街地の利便性向上
- ③安全な歩行者・自転車通行の確保
- ④拡幅整備と無電柱化による都市防災機能の強化

## 事業概要

事業区間：加古川市  
 加古川町平野～加古川町寺家町  
 総事業費：61億円  
 内用地補償費：48億円  
 事業期間：R3～R9  
 事業概要：現道拡幅  
 延長：940m  
 計画幅員：13.0m(25.0m)  
 費用便益費B/C:1.3

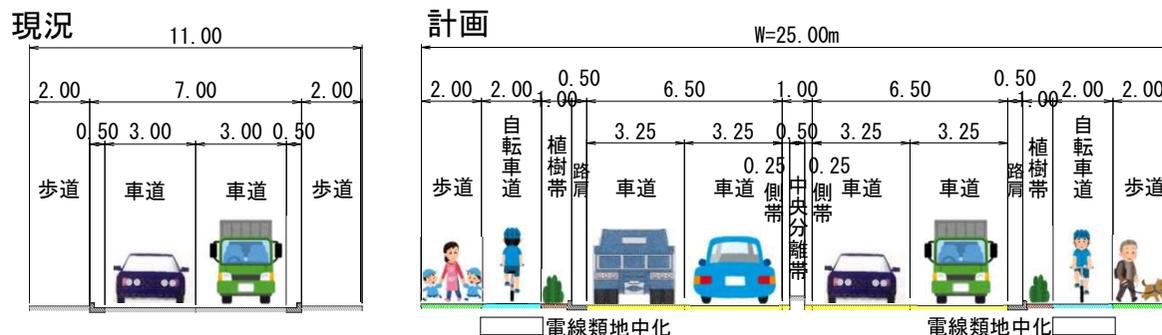
## 工程表

工種	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
測量・設計	■						
用地補償 (補償53件)		■	■	■	■	■	
本工事					■	■	■

## 位置図

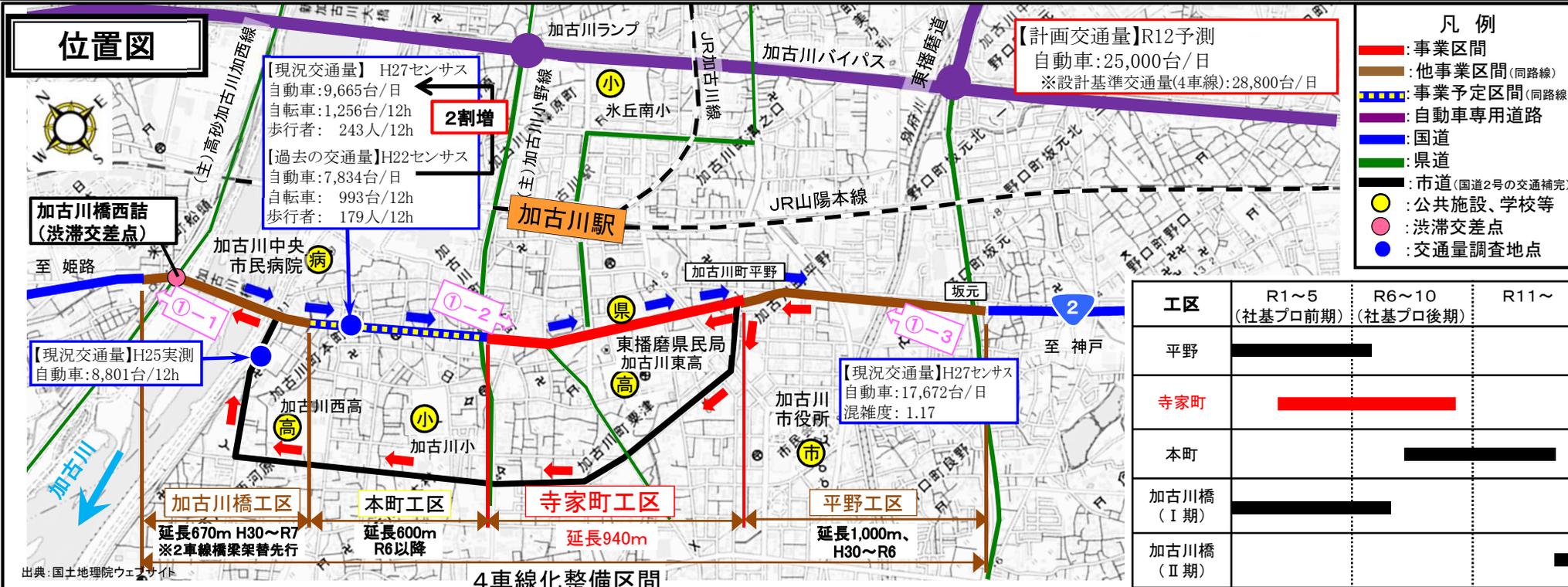


## 横断図



# 事業の必要性・優先性

- ① (都)国道2号線は、交通量の増加や、渋滞交差点である加古川橋西詰交差点がある等、慢性的な交通混雑が発生(坂元交差点～加古川町平野交差点:混雑度1.17)  
 東播磨道の、小野市までの全線開通(令和6年度予定)により、交通量がさらに増加する見込み(R12予測:25,000台/日)  
 ⇒東播磨道から加古川橋までを段階的に4車線化し、中心市街地の道路網を強化



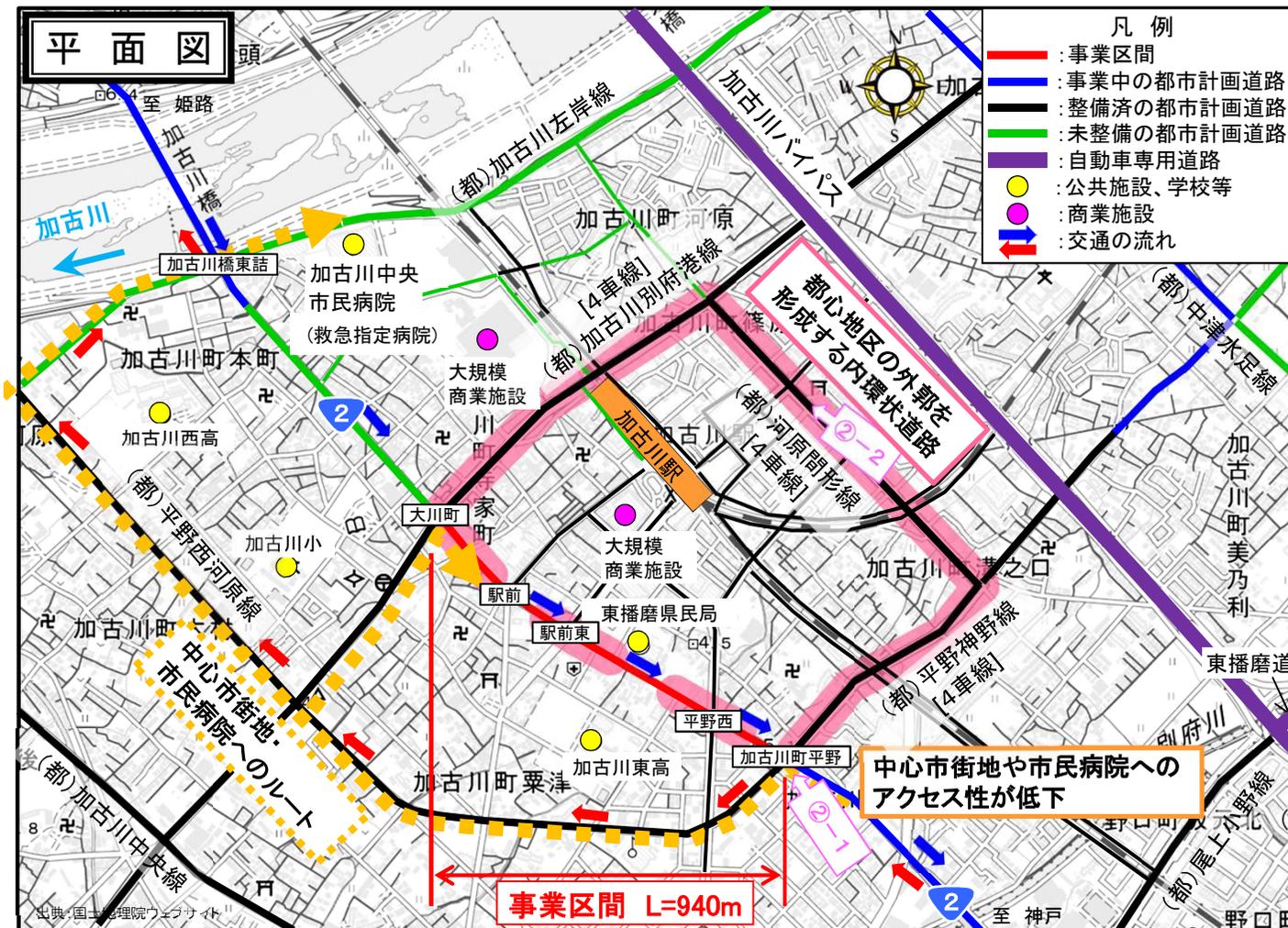
## 現況写真

- ①交通状況
- ・対面通行区間は、慢性的に交通混雑が発生している(①-1, 3)
  - ・中心市街地では、一方通行規制により利便性が阻害されている(①-2)



## 事業の必要性・優先性

- ②-1 国道2号の一方通行規制により、駅、大規模商業施設、中央市民病院等の核施設へのアクセス性が低下
- ②-2 都心地区の外郭を形成する内環状道路のうち、南辺を構成する当該区間のみが未整備となっており、中心市街地での回遊性が低下  
⇒東播磨道から加古川橋までを段階的に4車線化し、一方通行規制を解除することにより、アクセス性及び回遊性を改善し、中心市街地の利便性・安全性が向上



## 現況写真

- ②-1 一方通行による迂回状況  
一方通行のため、手前の交差点で左折し、迂回が必要



- ②-2 整備済みの内環状道路  
当該区間を除き、4車線の内環状道路が整備済み ※写真は(都)河原間形線



## 事業の必要性・優先性

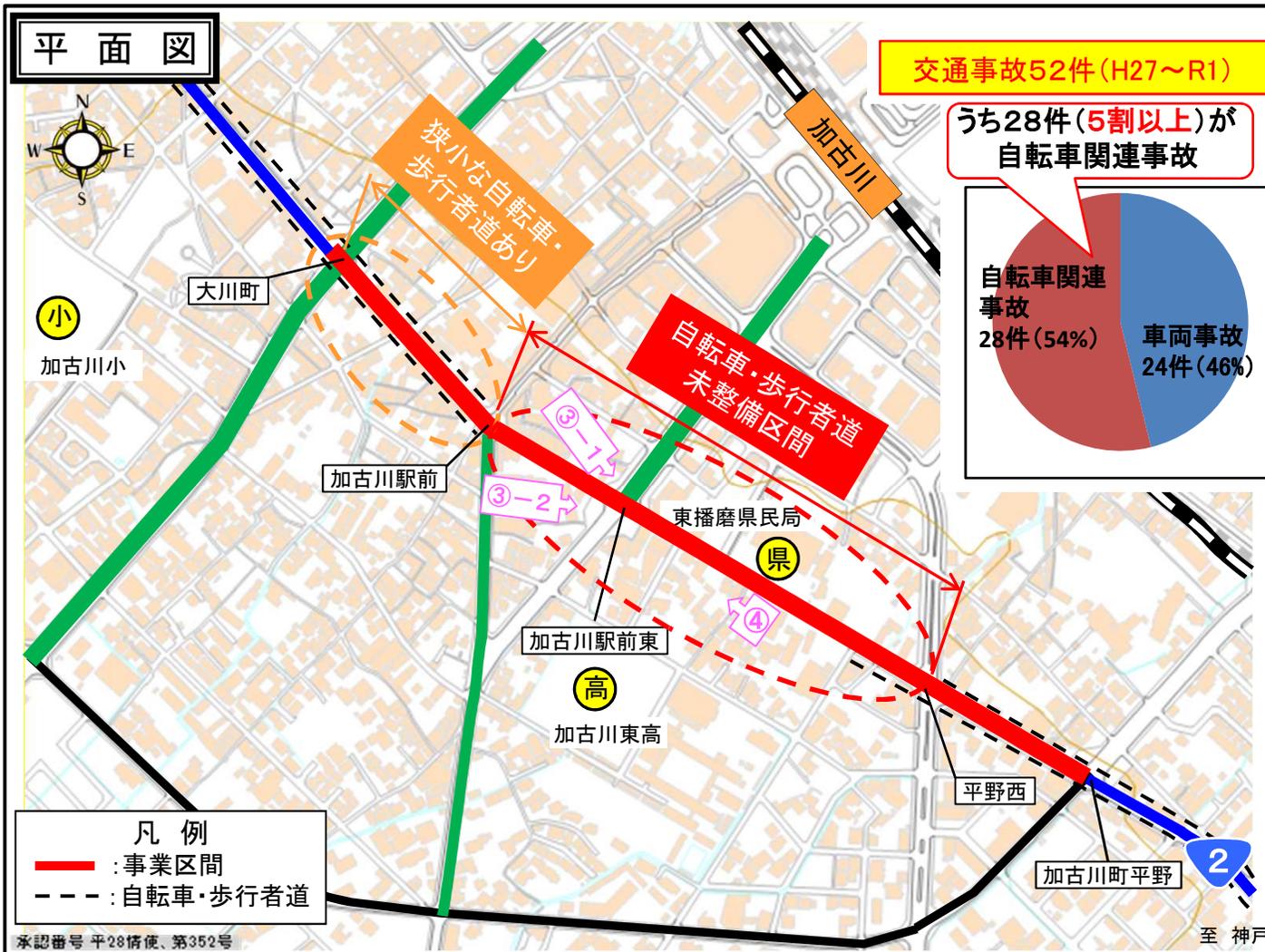
- ③ 通勤利用、通学高校生、買い物利用者の自転車交通量が1,256(台/12h)と非常に多いにも関わらず、自転車走行空間が未整備であり、多くの自転車事故が発生  
⇒自転車道の整備により、自動車・自転車・歩行者交通を分離
- ④ 道路の両側に電柱が立地し、災害時の電柱倒壊による交通遮断の危険性  
⇒道路拡幅に合わせて無電柱化することで、緊急輸送道路としての機能を強化

## 現況写真

- ③ 通行状況  
車両、歩行者、自転車が輻輳

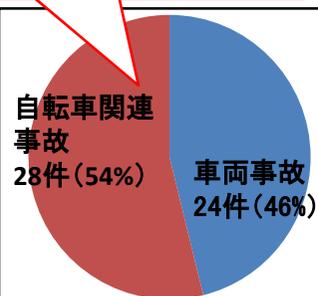


- ④ 電柱建柱状況  
道路の両側に電柱が立地し、災害時の電柱倒壊による交通遮断の危険性



交通事故52件(H27~R1)

うち28件(5割以上)が  
自転車関連事故



# 事業の有効性・効率性

## (1) 費用対効果

### ① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
走行時間短縮	目的地までの時間短縮
走行経費減少	走行速度の向上や走行距離の短縮による、燃料費の節約など
交通事故減少	中央分離帯の設置による、交通事故の減少など

### ② 費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		C(費用)			B/C	
		便益額 (百万円)	代表的な効果	総費用	事業費	維持管理費		
				(百万円)	(百万円)	(百万円)		
街路	都市計画道路 国道2号線 〔平野工区～ 加古川橋工区〕	① 走行時間短縮便益	26,210	・時間短縮: 5.0分→3.0分  ・計画交通量 25,000台/日	20,849	20,620	229	1.3
		② 走行経費減少便益	1,045					
		③ 交通事故減少便益	66					
		計	27,320					

※本表の費用便益比は、全工区(平野工区、寺家町工区、本町工区、加古川橋工区)の開通により一体的な効果を発揮することから、全工区を対象として算出した。

## (2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等	
①安全・安心の確保	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保	○	4車線化や無電柱化による災害時の緊急車両等の円滑な走行確保
	救助・救援活動の支援	○	加古川中央市民病院へのアクセス性向上
	減災対策への取り組み	○	火災時の延焼遮断帯としての機能確保(幅25m)
	交通安全対策	○	自転車の分離による歩行者自転車双方の安全確保
②地域の活性化	中心市街地の活性化	○	加古川中心市街地のアクセス性向上
③円滑な交通体系の確保	公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	○	JR加古川駅へのアクセス性が向上 バス路線定時性の確保
④地域の環境改善	沿道環境の改善	○	歩道部の透水性舗装による ヒートアイランドの抑制・地下水涵養
	景観形成	○	無電柱化による良好な景観の形成

## (3) 地域からの要望状況等

要望状況等	加古川市国道2号等整備促進協議会より早期整備の要望有り。
-------	------------------------------